

2 0 1 1 年 冬 の 収 蔵 展 示



浜口陽三銅版画展 —少年の日の夢—

2011年12月6日[火]～2012年2月29日[水]

入館料 | 大人 600円 / 大学・高校生 400円 / 中・小学生 200円

休館日 | 月曜日(1月9日は開館)、1月10日[火]、冬期休館 12月26日[月]～1月6日[金]

開館時間 | 11:00～17:00 (最終入館 16:30 / 土日祝 10:00 開館)

※12月10日[土]、12月11日[日] は銅版画体験教室の為、1階会場が観覧しにくくなります。
※休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。

2011年 冬の収蔵展示

浜口陽三銅版画展—少年の日の夢

浜口陽三は、20世紀を代表する版画家の1人です。1950年代にフランスに渡ってカラーメゾチントという新しい銅版画の技法を編み出し、この技法を用いた作品によって世界的なコンクールで次々と大賞を獲得しました。見る人がずっと包み込まれるような、静謐さをたたえた作品は今でも世界中に知られています。

冬の収蔵展示では、浜口陽三の銅版画を約50点紹介するほか、少年時代の絵画類を前・後期にわけて25点ずつ展示します。

千葉県銚子市で育った浜口は、「大きな絵より、小さくても真実の絵を描きたい」と小学校の絵の先生に語ったそうです。現存する絵は、水彩や色鉛筆のドローイングで、題材の多くは身近な静物や風景です。中には大正のモダンな風俗を感じさせるモチーフもあり、後の銅版画に通じるような特色も見出せます。未来のある少年の目に重ねるようにしてご鑑賞ください。

そのほか、芸大時代の油彩画1点と、最晩年に描いた未完成の油彩作品を展示します。

※2011年は、南桂子生誕100年を記念して、南桂子銅版画作品も10点ほど展示します。



1



3



4



2



5



6



7

1. 少年時代のスケッチ「みりん」
 2. 少年時代のスケッチ「ハート」
 3. 少年時代のスケッチ「船」
 4. 少年時代のスケッチ「インク」
 5. 少年時代のスケッチ「ラベル」
 6. 「スペイン風油入れ」 1954年 28.8×28.7cm メゾチント
 7. 「蝶」 1963年 11.4×11.5cm カラーメゾチント
- 表 「黒いさくらんぼ」 1963年 34.5×29.5cm カラーメゾチント

イベント—銅版画教室

体験教室《初心者向け》

モノクロームメゾチント技法を使って製版から刷りまでを行います。

1回の実習でポストカード大の作品を完成させます。

日時 | 2011年12月10日 [土] 14:00~17:00

講師 | 江本創 (えもと はじめ) [アーティスト]

定員 | 20名

参加費 | 1800円+入館料

自由教室《経験者向け》

ミュゼ浜口陽三の体験教室に参加したことがある方限定の教室です。

作品制作の場所を提供いたします。

※技法はモノクロームメゾチントに限ります。

日時 | 2011年12月11日 [日] 14:00~17:00

定員 | 15名

参加費 | 500円+入館料

お申し込み方法 (共通)

往復はがきに(1)ご希望のコース名と開催日、(2)お名前、(3)ご住所、(4)電話番号を明記の上、右記住所までお申込下さい。

参加希望者1人につき1通のみ有効(重複申込は無効)です。

応募締切 | 2011年12月2日 [金] ※必着

抽選結果 | 返信はがきにて通知いたします。

※やむを得ずキャンセルされる場合は、お早めにご連絡ください。

※キャンセルが出た場合、落選された方へお電話でご案内することがございます。

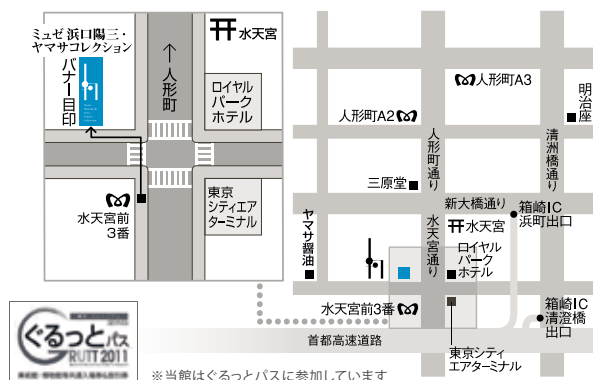
アクセス

- 東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番出口そば
- 東京メトロ日比谷線「人形町」徒歩8分
- 首都高速箱崎 I.C 浜町出口または清洲橋出口東京シティエアターミナル駐車場前

103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-35-7

Tel. 03-3665-0251 Fax. 03-3665-0257

Mail musee@yamasa.com URL <http://www.yamasa.com/musee/>



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション